



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

11 月フィリピン共和国

場所：フィリピン共和国 カオハガン島

日程：2014 年 11 月 20 日（木）～11 月 24 日（月）

参加メンバー

（後列左から）上崎秀美(D)、垣内満智子、(H)、出口沙耶 (H) 大西富子(H)

川本麻央 (D)、今村ちひろ (D)

（前列左から）トッペル、エッジ・ナノイ 沢田宗久(D) ヴァージニア



11 月 20 日（木）

7 時 30 分

関西国際空港出発ロビーにて集合し、チェックインカウンターへ。

2013 年 11 月にフィリピンを襲った台風 30 号で被害の大きかったレイテ島
9 月の活動の為、器材を持ち帰り、今回カオハガン島へ再度持ち込む為かなり

の重量オーバーとなった。

その為、急遽貨物として預ける荷物をバラし、各自が分担して機内への持ち込みとした。

チェックインが無事に済み、沢田代表のお心遣いにより朝食をご馳走になった。参加メンバー皆で 美味しく頂いた。

その後、私たちを乗せたPR407 便は沢田代表のボランティアの心得である『かきくけこ』を胸に、また今回の活動でどんな笑顔に出逢えるかを胸に秘め、定刻より少し遅れ関西国際空港を離陸した。

13 時 20 分頃（現地時間）ニノイ・アキノ国際空港（マニラ）へ到着。

入国審査をしていると…うん!?

なにか見覚えのあるカバンがターンテーブルを回っている…まさか…

その回っているカバンはそのまさかだった

その後、何かの手違いでマニラを降りてしまった荷物は 『どうかセブまで…』と皆の気持ちを載せターンテーブルの中へ消えていった。

マニラからセブ島へ向け 定刻通り離陸し、18 時頃セブ島へ到着した。

マニラで降りてしまった荷物は全て無事皆と一緒にセブに到着した。

セブ空港では東京メンバーの Dr. 川本と DH 出口、Dr. 上崎と無事に合流することが出来た。

セブ空港ではカオハガン島のトッペル氏、エマ氏、ゆうこ氏の『お帰りなさい』の心温かいお出迎えがあった。

21 時頃カオハガン島上陸（満潮だった為母屋の近くまで船をつけることが出来た）

夕食の準備が出来るまでの間明日からの診療についての説明などミーティングを行った。

夕食後は各自自由行動ではあるが明日からの診療に備え就寝した。



11月21日（金）晴れ

各自起床

7時30分 朝食

9時から診療が行うことができるよう早めに朝食を済ませ、バランガイホールへ向かう。

そのバランガイホールの前にはJDMが来島するのを待って下さっている方々が列をなしていた。

列をみた私たちも診療の為の設営、セッティングを行った。

今回参加メンバーは少ないが時間通り診療を開始することができた。

さすがチームワークが良いJDMです。

13時頃予定より少し遅い昼食。

昼食にスープが出て、とても優しいお味に皆午前診の疲れが癒された。

また豚肉のから揚げも頂いた。その豚肉は話をお聴きすると、カオハガンハウスには冷蔵庫がない為『新鮮な豚肉』とのことだった。

日本では「新鮮な野菜」などという言葉は口にしたり聞いたりはあるが、『新鮮な豚肉』というのはあまり聞いたことがないので耳に新鮮だった。

14時 午後診開始

カオハガン島の笑顔の素敵な女性が来院。口腔内はJDMの技工士の先生が心を

込めて作成した入れ歯が入っていた。その入れ歯を外してみると…
床をブルーで埋め尽くされていた。

入れ歯の使用法など媒体もあり、説明もしているのに伝わっていないことに
とても悲しい気持ちになったのと同時に、今後の課題も見えたように感じた。
また沢田代表は彼女に入れ歯のお手入れ方法を説明し、納得した彼女は笑顔で
帰宅していった。

また沢田代表が援助をしてセブ島で歯学部に通っているナノイ・エッジさんも
午後診より手伝って下さり、沢田代表の治療などを見学し学んだ。

また昨日マクタン島でお祭りがあり、学校もお休みなので子供さんたちはマク
タン島に残っており、いつもより穏やかな時間の中診療が出来た。

17 時頃 本日の診療は無事終了。

夕食開始の 19 時頃までドラム缶風呂や島の散歩など各自楽しく今日の診療の
疲れを癒した。

夕食後、今日の報告を各自行った。

器材のトラブルもなく滞りなく治療が出来たとのことだった。



11 月 22 日（土）晴れ

各自起床

8 時頃 朝食

9 時 診療開始

お祭りの為マクタン島へ行っていた島民や子供さんたちが昨晚帰島し、慌ただ

しい始まりとなった。

午前診、慌ただしいなか無事終了し、午後診の途中恒例の『チカラ水』

（カラマンシージュース）とココナツパンを頂きました。

JDM メンバー皆慌ただしく過ぎる時間と治療の中『チカラ水』の美味しさと心の優しさに癒された。

17 時過ぎ午後診無事に終了。

夕食まで昨日に引き続き各自自由行動。

19 時頃 夕食と本日の申送り。申送りでは 5 倍速の給水タンクが破損したとの報告があった。

夕食後カオハガンハウスで勤務して下さっているスタッフの方たちへ沢田代表より帽子のドネーションがあった。

色々なデザインがあり、どれも素敵な帽子で、スタッフの方たちは選ぶのに真剣でした。





11月23日(日) 晴

各自起床

8時頃 朝食

本日 最終日の予定を Dr.上崎より説明。

9時 診療開始。

今日が診療最終日の為、島民以外の方たちもバランガイホールの前に集まって下さっていた。

10時頃 チェックアップ終了。

治療が終了し次第、器材等の撤収作業に各自分担し入る。

12時頃 治療も撤収作業も無事終了。

さすがチームワークのJDM!! 予定通りです。

昼食後、恒例の島民の方たちとの大運動会です!!

リレー、飴食い競争に玉入れ、綱引き、みんな真剣勝負です。

大運動会が終了後、沢田代表より参加賞として歯ブラシが子供さんたちにプレゼントされ皆大喜びでした。





19 時頃 夕食

夕食前、みんなで『たこ焼き』を作りました。

日本ではたこ焼きに当たり前のように紅ショウガが入っていますが、もちろんカオハガン島には紅ショウガはありません。

そこで沢田代表はショウガを刻み代用する、さすがです!!

また、たこ焼きの鉄板に敷く油はもちろん made in カオハガン島。

手作りココナッツオイルです。

とても香りが良く心にも身体にも優しいオイルです。

『沢田代表 特製たこ焼き』は カオハガンハウスのスタッフの方たちや JDM メンバー皆で美味しく頂いた。

夕食後 今回の活動での気づきなどの想いを皆一人ひとり発表した。

メンバーの発表の中で共通しているのは 『参加させて頂く事の幸せ』でした。

11月24日(月) スコールのち晴れ

各自起床

6時 今回の活動最後をヒーナイヒーナイ café で メンバー皆がコーヒーやマンゴージュースを頂き、出発までの時間を過ごした。

私たちの集合時間の 6 時少し前まで凄雨に見舞われ「これは船に乗る前も乗ってからもずぶ濡れになり着替えが必要で大変だ…」とと思っていたところ、集合時間前あの大雨が止みました。「あの大雨はなんだったのか!?!」さすが JDM です。メンバー皆の想いが空に通じたのだと思います。

また楽しい時間は早く過ぎるもので、出発の時間となった。

ゆうこ氏の「行ってらっしゃい」の言葉。またカオハガンハウスの家族の一員の「ワンタ」が犬かきをしながら私たちをお見送り。

今回は 干潮の為船が乗れるところまで海の中を歩き乗船した。

色々な想いを胸にカオハガン島を後にした。

9 時頃 セブ空港に到着

今回のメンバーとトッペル氏との最後の朝食を頂く。

朝食後 トッペル氏 東京チームの Dr.川本 DH 出口と別れた

12 時過ぎ マニラに到着

無事出国審査を済ませ、ボーディングタイムまで各自自由行動。

14 時 50 分 マニラを離陸

19 時頃 (日本時間) 定刻より少し早く寒い日本へ無事に到着。

到着後、沢田代表より今回の活動での労いのお言葉があり、解散となったが『家に帰るまでが JDM』皆家族が待つ家路へと空港を後にした。

総括

リーダー報告

今回は、歯科医師4名 歯科衛生士3名の総勢7名でのミッションでした。

いつもどおり診療と、媒体啓蒙活動の予定 でしたが

地域のフェスティバルにあたり島民、特に子供たちが不在となっており
ほぼ診療だけとなったことが残念でした。

ただ、この人数で診療に専念できたのは結局よかったのかもしれませんが。

最終日運動会は、子供たちも揃い 全員で 島民たちとの文化交流できました。

また、今回は天候には恵まれたのですが 風がなく非常に蒸し暑かったため
体調管理には心配しました。幸いにも大きな不調もなく全員無事帰国できました。
参加者の皆さんの協力に感謝しつつ リーダー報告とします。

上崎

治療結果

《治療結果》

	11/21	11/22	11/23	合計
EXT	102	88	47	237
スケーリング	12	26	16	54
セメント充填	8	49	17	74
Checkup	—	18	—	18
CR	5	25	11	41
その他	2	2	1	5
患者数	52	112	42	206

島別受診者	
カオハガン	63人
カオハガンスクール	29人
パガンアン	8人

クアミング	7人
カブルアン	5人
サンタロッサ	4人
バンダノン	3人
セブ	3人
ボホール	2人
無記入	1人
合計	125人